研究課題名

尿路感染症を疑う小児患者における尿グラム染色(point-of-care gram stain)の有用性

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H28中倫小第70号）

研究実施についてのお知らせ

　沖縄県立中部病院　小児科では、尿路感染症を疑う小児患者における尿グラム染色の有用性に関する研究を実施しております。

平成 29年 2月 17日（改訂平成 29年 12月 21日）

【研究課題名】

尿路感染症を疑う小児患者における尿グラム染色の有用性

【研究期間】

2011年1月～2015年12月末

【調査対象】

当院小児科外来、もしくは救命救急医療センターにて尿路感染症を疑われ、検査が行われた3歳未満の方

【研究目的・意義】

　小児患者における尿路感染症の診断特性を明らかにし, point-of-care gram stain検査の実臨床での寄与を明らかにする.

【研究の方法】

　沖縄県立中部病院における単施設横断研究

研究の場所:　沖縄県立中部病院

対象者の選択:

- 取り込み基準：沖縄県立中部病院小児科外来, もしくは救命救急医療センターにて,   
 尿沈渣検査, point-of-care gram stain検査, 尿培養検査を同一検体で提出された生後  
 36か月以下の患者

- 除外基準：検査時に尿カテーテルの長期留置や排尿に導尿を必要としていた患者

- 標本規模及びその算定根拠：適格基準に合致する全ての患者を対象とする

対象者登録期間:　2011年1月1日から2015年12月31日

調査にあたっての方法:　診療録を用いたretrospectiveな検討

【個人情報の取扱い】

研究に用いられるデータは連結可能匿名化の処理がなされます。患者さんのお名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心ください。調査したデータは研究終了後、一定期間経過後に責任を持って破棄します。

また、今回の研究で得られた成果を学会や学術雑誌等で報告することがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

　この件に関しましてご質問などがございましたらご遠慮なくお尋ねください。

 【資金提供】

・研究助成金として、平成29年度東京慈恵会医科大学大学院研究助成あり。

・論文掲載料として、東京慈恵会医科大学臨床研究部から助成の見込み。

【研究機関】

沖縄県立中部病院小児科

【本研究に関する問い合わせ先】

セクション名・氏名・住所・電話番号（内線番号）等

沖縄県立中部病院小児科　研究責任者　　吉年俊文　098(973)4111